



## 企業名

響屋大曲煙火  
株式会社たまたま入社希望のメッセージを送って  
きた外国人材が、会社の海外進出に大きく貢献

## 企業インタビュー

代表取締役  
齋藤 健太郎氏

## 事業内容

1894年創業の花火製造会社。日本三大花火大会の一つ全国花火競技大会「大曲の花火」が開催される秋田県大仙市で、日本の伝統的な花火づくりにこだわりながらも、コンピューター点火器や独自の打上げ筒などを活用し、新たな演出に取り組む。

## 企業概要

企業名：響屋大曲煙火株式会社  
所在地：秋田県大仙市長戸呂字ハサバ長根1-5  
設立年：2007年  
資本金：1,000万円  
従業員数：35名  
うち高度外国人材2名  
出身国・地域：フィリピン1名、イギリス1名  
業種：製造業（煙火製造業）  
ホームページ：<https://www.hibikiya.co.jp>

## 高度外国人材を受け入れたきっかけ・背景

## たまたま外国人材から入社希望のメッセージが届いた

近年、花火を一発ずつ打ち上げるのではなく、音楽に合わせて連続的に打ち上げる演出が求められるようになりました。しかし、当社にはその演出を担当できる人材が数名しかおらず、その上全員が花火の製造業務を兼任していたため、繁忙期の夏には演出業務が追いつかないことも。そこで、花火の演出ができる人材を増やそうと考えていた時に、たまたま入社希望のメッセージをもらったのがフィリピン人だったのです。

## 高度外国人材受け入れに当たっての取組内容

## 日常生活で困らないよう、自動車免許の取得を促した

受け入れにあたっては、外国人材が日常生活で困らないようにすることを最優先に考えました。フィリピン人の応募者に自動車免許の取得を促したのも、その一環です。南国の都会育ちの彼は、雪国での移動がどれだけ大変かを理解しておらず、当初は「自転車で大丈夫です」と言っていたほどでしたが、結果的には車を運転できるようになったおかげで、新生活にも馴染みやすかったです。

## 高度外国人材採用に当たっての課題と解決策

## 外国人材をどう育てるかというビジョンが大切

外国人材の採用にあたっては、応募者が当社の採用基準に見合っているかではなく、むしろ当社が応募者をどのように育成するかというビジョンを重視しています。フィリピン人の応募者については、実際の花火製造にも触れながら花火演出およびシミュレーションに特化した人材として育成することで、当社のサービス質向上につなげていこうという結論に至りました。というのも、彼は花火を製造したことはないものの、花火シミュレーションソフトを使った動画作品のコンテスト「世界Web花火大会」で優勝した経験を持っていたからです。全国的に見ても早い時期から花火シミュレーションソフトを導入し、国内外のお客様に対して事前に花火の打上げプランを共有してきた当社において、彼は即戦力になり得る人材だと判断しました。

## CASE 07



## 高度外国人材定着に当たっての課題と解決策

## 指示の理解度を都度確認し、ミスコミュニケーションが減少

当社は、全国各地から移住してきた社員が多く、移住者同士の交流も盛んなため、外国人材も馴染みやすい環境だといえます。とはいえ、フィリピン人社員が働き始めたころは、日本語が大きな壁となりました。日常会話は問題ないものの、専門用語などの理解が不十分だったため、度々上司や先輩の指示を誤って解釈してしまったのです。

そこで、指示を復唱させてわからない時にはわからないと正直に言うようになり、花火の構造や燃焼時間についても知識を吸収し、より現実に即したシミュレーションができるようになりました。入社後1年経たずして自らデザインした花火を実際に打ち上げられているという自信が、彼の定着につながれば良いと考えています。

## 高度外国人材活用による成果・変化

## 外国人材の採用により、海外進出が加速した

フィリピン人社員の採用により、予想外の成果がありました。例えば、既存のシミュレーションソフトでは再現できなかった日本の花火独自の輝き方や色の変化、形を反映できるようになったのも、彼がシミュレーションソフト制作会社とのコネクションを生かしてアップデートを依頼したおかげです。また、2010年代後半に花火の海外輸出を始めた当社には、海外の花火業者から商品の問い合わせが寄せられることがあるのですが、日本のみならず海外の花火にも精通している彼が、先方の要望をうまく読み取って伝えてくれるため、より適切に対応できるようになりました。

現在は新たに外国人社員も加わったので、今後はさらに海外での花火打ち上げや海外への花火輸出を本格化させ、日本の花火をグローバルに展開するための道を切り拓いていきたいと考えています。

## 高度外国人材社員

## インタビュー

日本の花火の魅力を、  
海外にもっと広めたいです。



Santos Kristian Fjord

サントス クリスチャン フィヨルド氏

国籍・地域  
フィリピン 2023年入社

## 入社理由

幼いころから花火が好きで、高校生の時にシミュレーションソフトを使って独学で花火の演出を始めました。大学卒業後、世界一の花火技術を誇る日本で花火師になりたいと考えていた時に、HPやSNS上で英語での情報を発信していた響屋大曲煙火を見つけ、「働きたい」と何通もメッセージを送りました。コロナ禍のために何年か待ちましたが、ようやく入社できた時は本当に嬉しかったです。

## 業務内容

私の主な仕事は花火のシミュレーション制作・演出ですが、必要な花火があれば自分で製造することもあります。働き始めたころは、シミュレーションソフトでイメージを膨らませるだけだった花火を、現実世界で打ち上げられることに興奮しました。実際の演出では、花火の数や種類、予算に制約があるため、頭を悩ませることも少なくないですが、いつも工夫を重ねながらより良い演出をしようと心がけています。

## 東北地域で働く理由・良さ

休みの日でも花火のシミュレーションをするほど花火が好きなので、魅力的な花火大会や祭りがたくさんある東北地域で働くことができラッキーだと感じています。たまに仕事で知り合った人が一緒に花火を観に行こうと誘ってくれることもあり、様々な花火を体験できるのが楽しいです。入社当初は雪道での運転に緊張しましたが、今はもう慣れ、都会から離れた自然の中での生活を満喫しています。

## 今後のキャリアプラン

今後の目標は、立派な花火師になること。花火の製造はもちろん、シミュレーションや演出においても学ぶべき技術がまだまだたくさんあるため、それらを着実に習得し、ストーリー性のある花火を作れるようになりたいと考えています。ゆくゆくは、海外の花火競技大会に積極的に参加してみんなで作った花火を見せ、日本の花火の魅力を世界に広めていきたいです。